



平成21年 3月 6日

各 位

会 社 名 国際放映株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新江 幸生
 (JASDAQ・コード9604)
 問合せ先責任者 取締役経理・関連会社担当 津屋 明彦
 電 話 03-3749-7213

平成21年1月期通期(連結・個別) 業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成20年11月20日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成21年1月期(平成20年2月1日～平成21年1月31日)の通期業績予想(連結・個別)との差異を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年1月期 通期(連結)業績予想数値(平成20年2月1日～平成21年1月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,489	119	90	6
今回修正予想(B)	3,495	193	163	16
増減額(B-A)	5	73	73	10
増減率(%)	0.2	61.6	81.8	178.5
(ご参考) 前期実績(平成20年1月期)	2,871	197	170	63

(2) 平成21年1月期 通期(個別)業績予想数値(平成20年2月1日～平成21年1月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,130	88	60	2
今回修正予想(B)	3,180	164	137	16
増減額(B-A)	49	76	76	14
増減率(%)	1.6	86.8	126.5	548.1
(ご参考) 前期実績(平成20年1月期)	2,621	198	174	52

2. 業績予想の修正の理由は下記のとおりです。

個別業績

景気後退の影響を受け、大変厳しい状況が続く放送業界において、当社の映像事業部門は、テレビドラマ番組の制作は、ほぼ予想通りに推移いたしましたが、コンテンツ販売において、第4四半期に利益率の高い商品化権収入があり、売上、利益ともに予想を上回る見通しとなりました。

また、スタジオ経営事業部門においては、スタジオレンタルで、年末年始の番組の収録により売上が伸びたほか、スタジオ長期賃貸で賃貸原価の減少等があり、利益を確保することができました。

以上により、当事業年度は、営業利益、経常利益ともに予想を上回る見通しとなりましたが、当社が計上しておりました繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討し、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額に47百万円を計上することとしたことにより、当期純利益は16百万円となる見通しです。

連結業績

個別業績の修正理由の他、連結子会社の1社において、美術製作収支の改善により、当初の予想を上回ることができました。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上